

「大腸癌術後のリンパ節検索個数に影響を及ぼす因子に関する後ろ向き研究」
へのご協力をお願い

2009年1月1日から2014年12月31日までに当院で大腸手術に対して手術をお受けになられた患者さんを対象として「大腸癌術後のリンパ節検索個数に影響を及ぼす因子に関する後ろ向き研究」を計画しています。研究は高知大学医学部倫理委員会の承認を得て行います。

＜研究の目的＞ 大腸癌の病期決定においてリンパ節転移の有無を調べることは非常に重要ですが、検査時に得られるリンパ節の個数は様々な要因に影響されると考えられています。当院で行なわれた大腸手術において、リンパ節転移に影響を及ぼす因子を統計的に見出すことで今後の診療のあり方や方向性を検討する上で重要な資料とします。

＜研究の方法＞ 2009年1月1日から2014年12月31日までに当院で大腸手術に対して手術をお受けになられた患者さんを対象として、年齢、性別、手術前の身長体重、術前の診断、腫瘍の病期、手術方法、手術部位、リンパ節転移の有無やリンパ節検索個数を電子カルテから集積します。

＜個人情報の保護＞ 今回の研究では、年齢、身長、体重など必要な医療情報以外の個人情報は電子カルテから記録することはしません。また電子カルテから抽出した情報は、パスワードでロックされた媒体に保存します。そして本研究終了後、すべての情報は破棄します。

＜お問い合わせ＞ 本研究に関してお問い合わせがありましたら、

研究責任者：小林道也（高知大学医学部附属病院がん治療センター・部長）

研究協力者：前田広道（高知大学医学部附属病院がん治療センター・特任助教）

電話：088-880-2182（直通） FAX：088-880-2183 までお願いいたします。